

# 吉見湾内における海洋観測結果 (2025年11月12日)



海洋生産管理学科 柏野祐二

水産大学校岸壁から  
撮影した吉見湾

使用船舶： 実験実習艇「紺碧」（12トン）



観測時間： 11月12日13:30～14:30

# 観測点（4点）

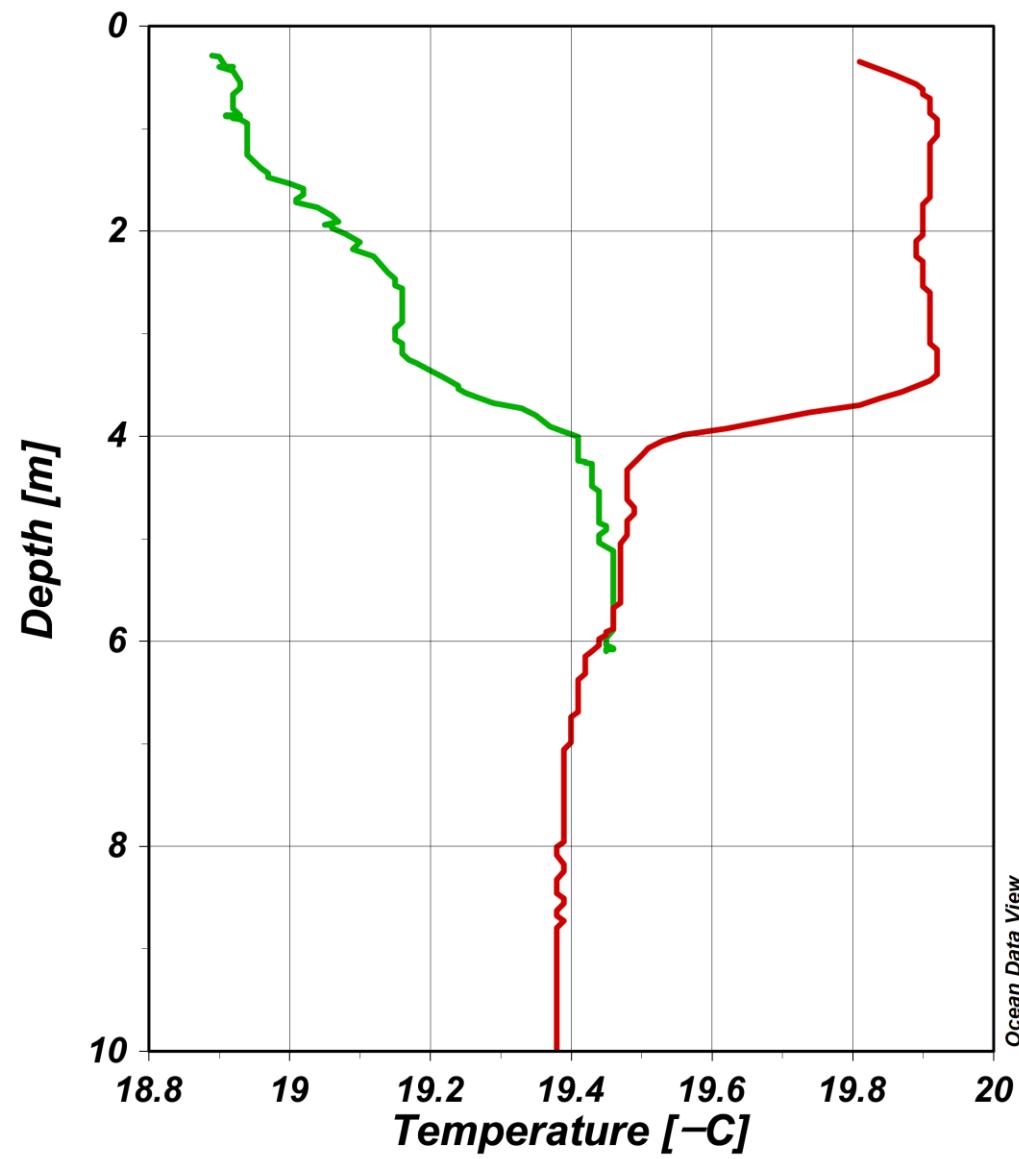
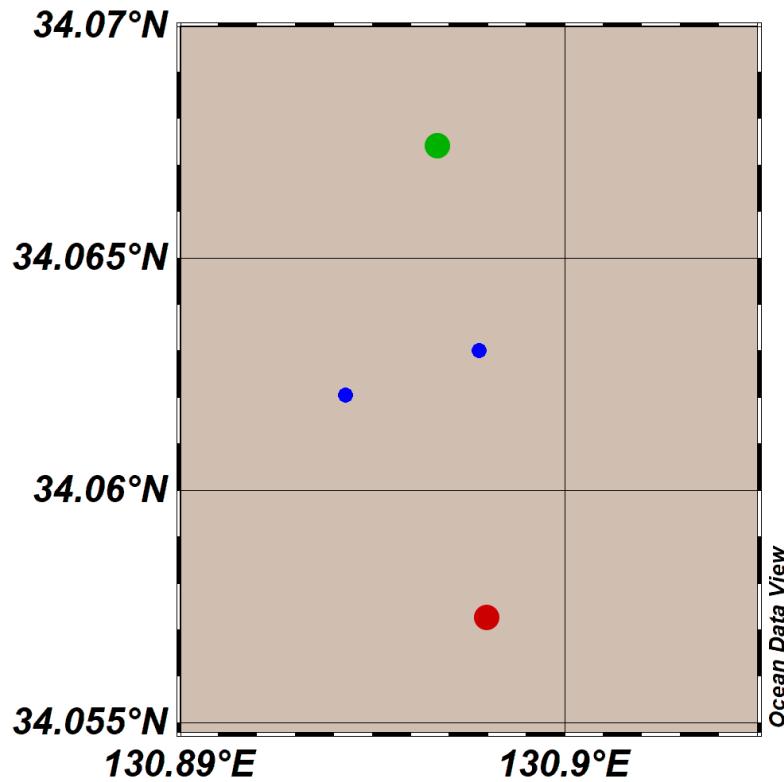


Google  
mapより

# 観測結果：温度

沖（赤）では、深さ 4 m より浅いところではそれより深いところより水温が高くなっているが、岸近く（緑）では逆になっている。

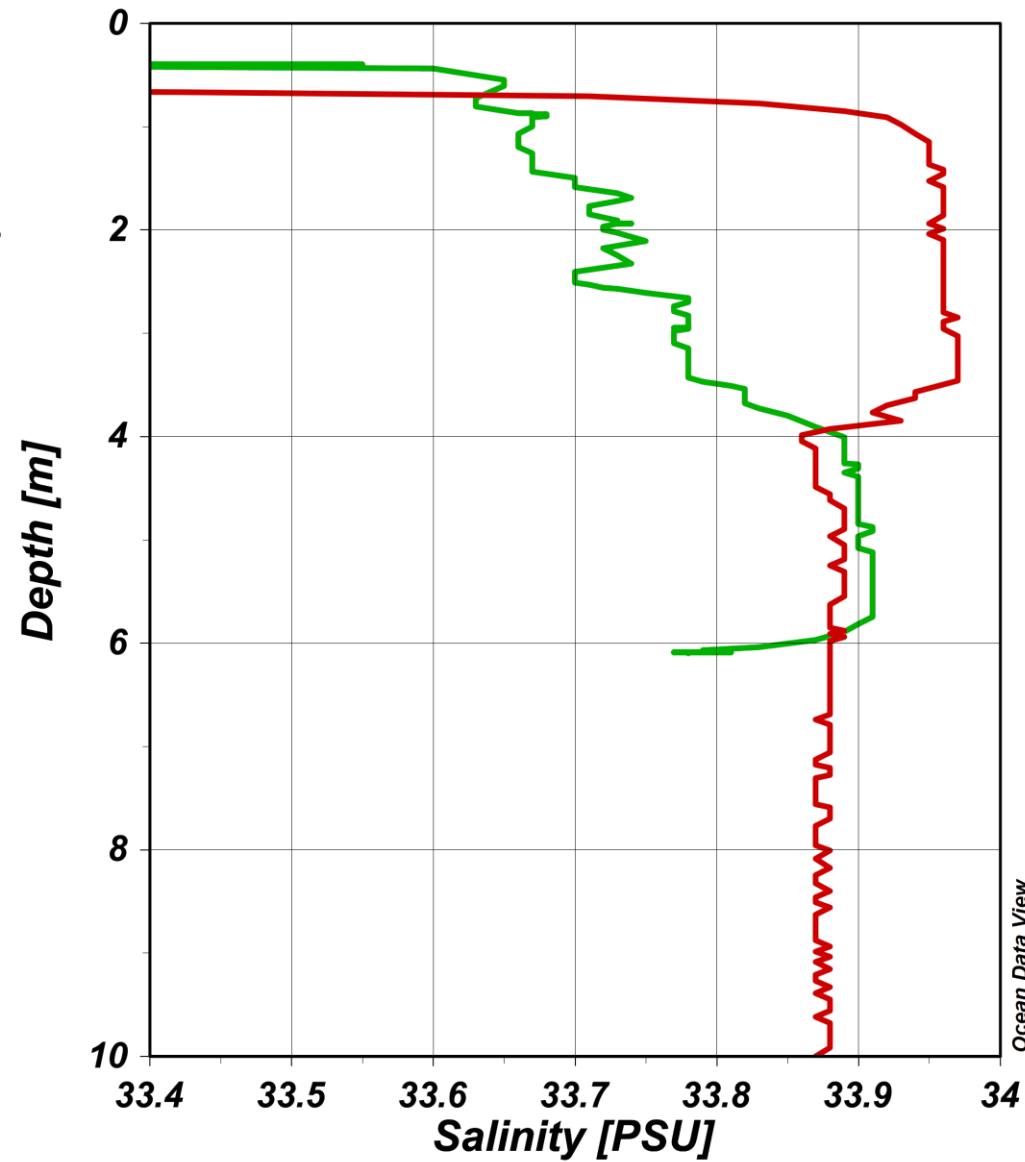
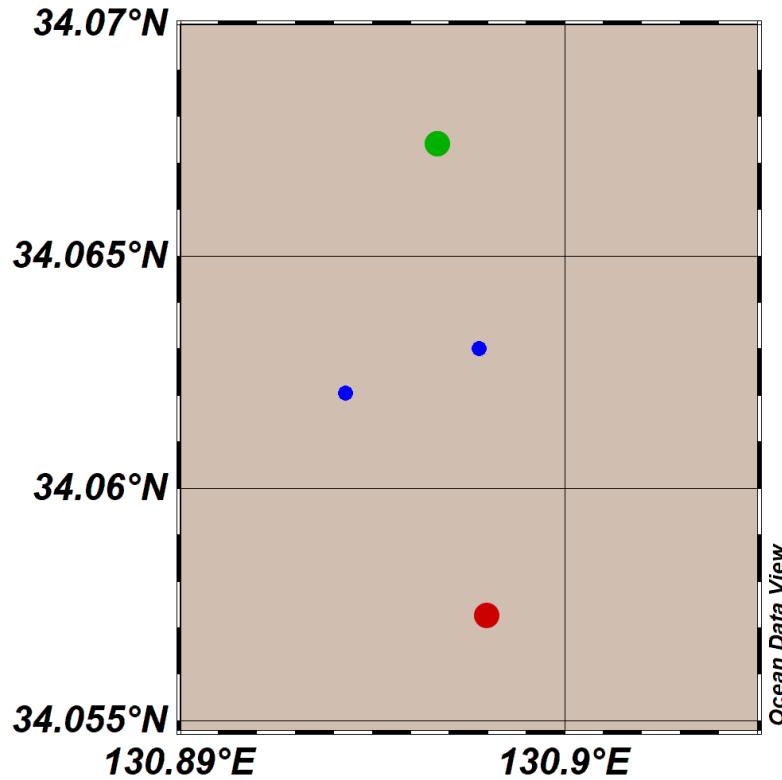
赤：測点1（最も沖の点）  
緑：測点3（最も岸寄りの点）



# 観測結果：塩分

沖（赤）では、深さ 1 m～4 mで塩分が高くなっているが、それより深いところでは低くなっている。一方、岸近く（緑）では逆に深さ 4 m以浅で塩分が低くなっている

赤：測点1（最も沖の点）  
緑：測点3（最も岸寄りの点）



## 考察

岸よりの点（測点3）で水温・塩分が低くなっているのは永田川・西田川からの河川水の影響と考えられる。両河川は水深が浅いことから、冷たい空気に冷やされやすくなってしまっており、冷たい河川水として海に流れ込んでいると考えられる。

右図に深さ2mの塩分の分布図を示すが、測点1（フィッシングパークそば）と測点4（加茂島近く）で塩分が33.9を越えているが、そこより岸では塩分が低くなっている。つまり、河川の影響は測点2（図の中央の点）付近まで及んでいるものと考えられる。

